

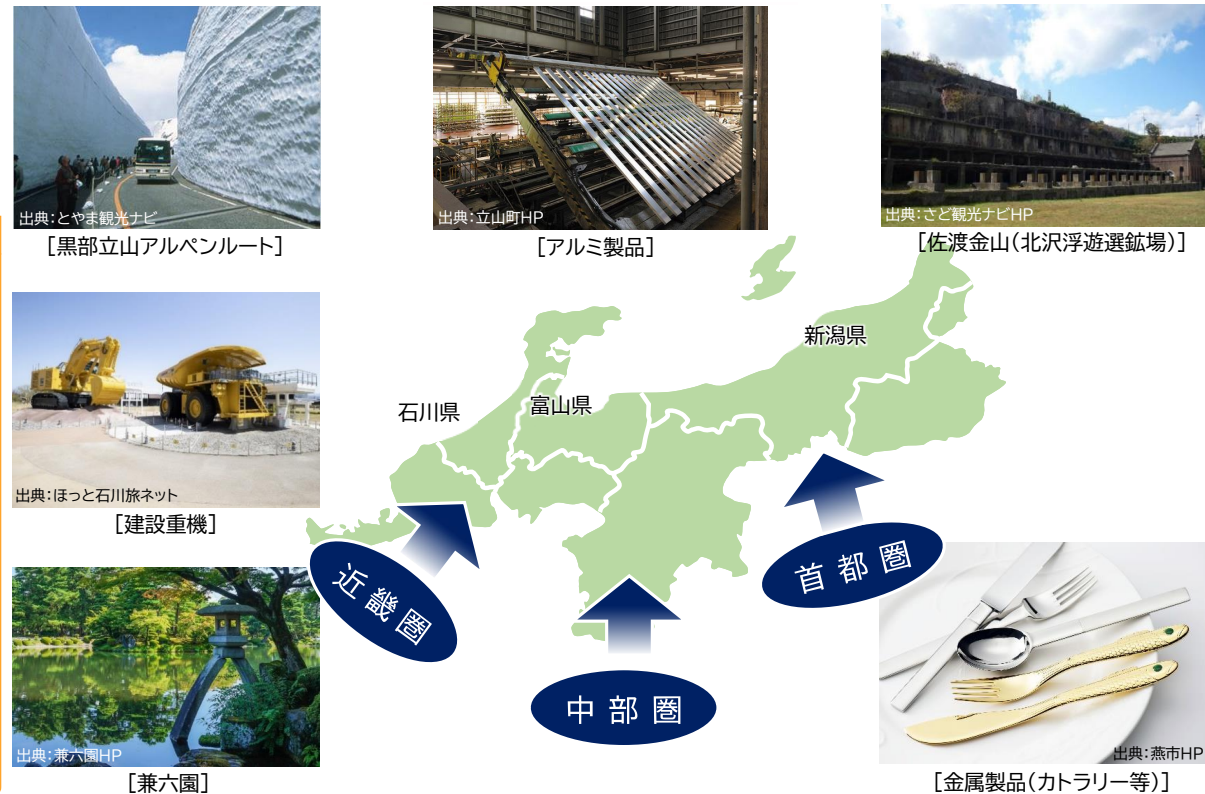
インフラ整備のビジョン

北陸の元気なくして日本の元気なし！

■ 北陸地域のポテンシャル

- ① 三大都市圏に隣接する地理的優位性
▶ 日本列島のほぼ中央に位置し、三大都市圏から概ね300km圏域
- ② キラリと光る「モノ」づくり
▶ 付加価値の高いモノづくり産業（北陸各県の1人当たりの製造品出荷額は日本海側トップクラス）
- ③ 世界に誇る観光地
▶ 自然や歴史・文化を活かした多くの観光資源

更なる進化・発展



■ 地域基盤のリスク

- ① 頻発する地震
 - ② 激甚化する豪雨
 - ③ 短期集中的な降雪
 - ④ 進む施設の老朽化
- 【R5年能登地方の地震】 【令和元年東日本台風】 【令和4年12月の大雪】 【損傷が進む道路構造物】



地域の守り手として



北陸の建設業の未来創造に向けた 3本柱 ～ 3Kから『新4K』へ 魅力ある建設業に向けて ～

柱その1

適正利潤の確保

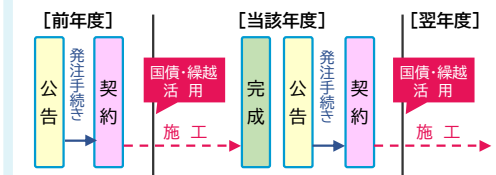
■ 物価高騰に対応した適正な積算

- ・賃金水準や物価水準の変動に対応したスライド制度や見積活用型積算による適正な予定価格の設定



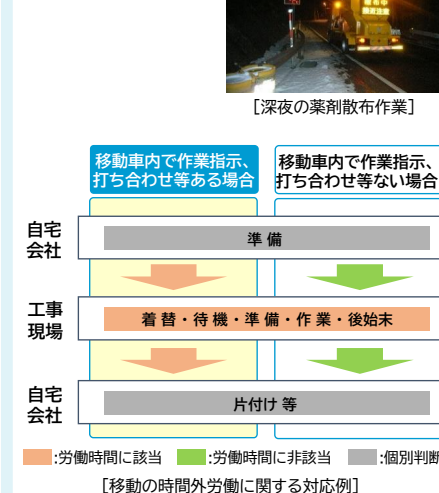
■ 適正工期の設定、工期の平準化

- ・国債・繰越の活用等で施工時期の平準化を実施



■ 2024年問題への対応

- ・時間外労働について災害、除雪時の適用を説明会等で周知



■ 週休2日適正工期発注者宣言の創設

- ・週休2日の確保など適正な工期設定にむけ、発注機関と受注者の一体的な取組の推進

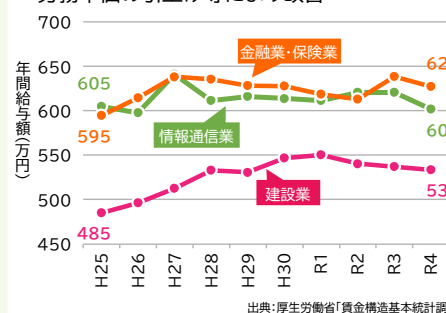


柱その2

変わる待遇・働き方

■ 建設業の給与改善

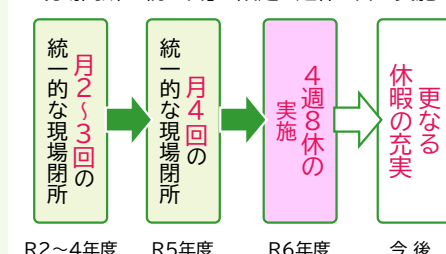
- ・他産業と開差のある建設業の給与水準を労務単価の引上げ等により改善



【北陸3県(全職種単価平均)】
R6年3月:労務単価 30,515円
対前年度比 7.7%増 (12年連続の上昇)

■ 週休2日推進に向けた統一的現場閉所

- ・「現場閉所の統一」を設定し週休2日を実施



■ ウィークリースタンスの更なる高み

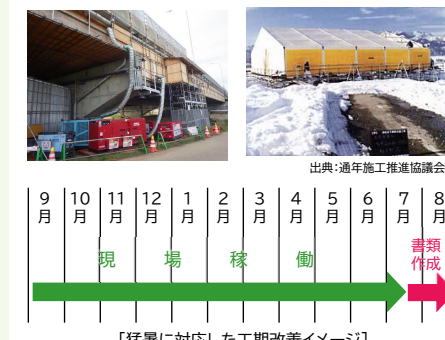
- ・一週間の受発注者相互のルールを設定

月	火	水	木	金	土	日
① 依頼期限と	② 定時帰宅に	③ 金曜日に	④ 依頼しない	⑤ 休養	⑥ 休養	⑦ 休養

- 【更にR5年度より以下も実施】
- ④ ランチタイム・オーバーファイブ・ノーミーティング (昼休みや午後5時以降の打ち合わせをしない)
- ⑤ イブニング・ノーリクエスト (定時間際、定時後の依頼をしない)
- ⑥ 金曜日も定時の帰宅を心掛ける 他

■ 気候変動に対応した適切な工期・作業環境へ

- ・快適スーパーハウス等で気候に左右されない作業環境を確保



柱その3

未来につながる建設現場

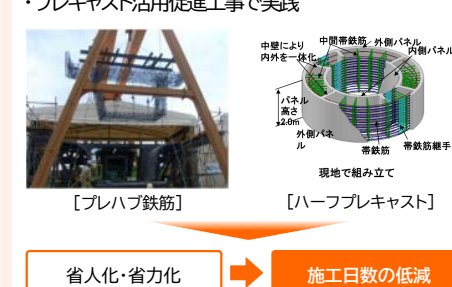
■ BIM/CIM原則化と受発注者コミュニケーション等への更なる活用

- ・3Dモデルの活用や遠隔現場の拡大を推進



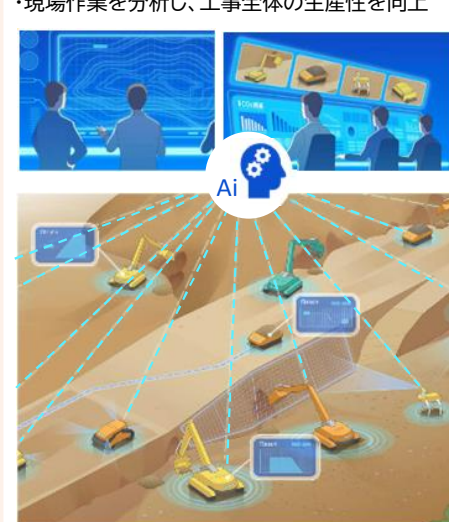
■ プレキャスト製品や新技術の導入・活用

- ・プレキャスト活用促進工事で実践



■ ICT施工の更なる展開

- ・現場作業を分析し、工事全体の生産性を向上



■ 工事書類のデジタル化・簡素化

- ・情報共有システムの活用で監督検査等の効率化
- ・工事書類の簡素化リーフレットの改訂

